

#### 4.2.4 観察結果

2025年5月、2026年3月に行った観察結果を以下に示す。

##### ① A 区画

設置されている3種類の基質の計15基について、5月では全ての基質で、3月では14基の基質でワカメの生育が確認された(後述の表4.2-14-2(1)～(2)参照)。5区画中のA2とA3の2か所において、3種類の基質各1基のワカメの株数と藻長を潜水士が目視で観察・記録した(図4.2-12(1)～(3)、表4.2-8(1)～(2))。なお、3月の剣山基質(A3)については、現場状況により調査対象外とし、他の区画の基質を代替として観察した。

5月のワカメの株数と藻長範囲は、剣山基質が100～150株/基、10～160cm、鋳物基質CS-Aが30～50株/基、20～160cm、鋳物基質CS-Bが40～60株/基、10～160cmであった。なお、基質上には小型海藻類のアオサ属を被度5%未満で確認した。

3月に基質上で確認したワカメは次世代の株であり、基質上のワカメの株数と藻長範囲は、剣山基質が25～40株/基、5～40cm、鋳物基質CS-Aが15～18株/基、5～60cm、鋳物基質CS-Bが4～12株/基、5～40cmであった。

なお、基質上には小型海藻類のショウジョウケノリを被度80～100%、アオサ属、フクロノリ、シオグサ属、ダジア科、ムカデノリを被度5%未満で確認した。

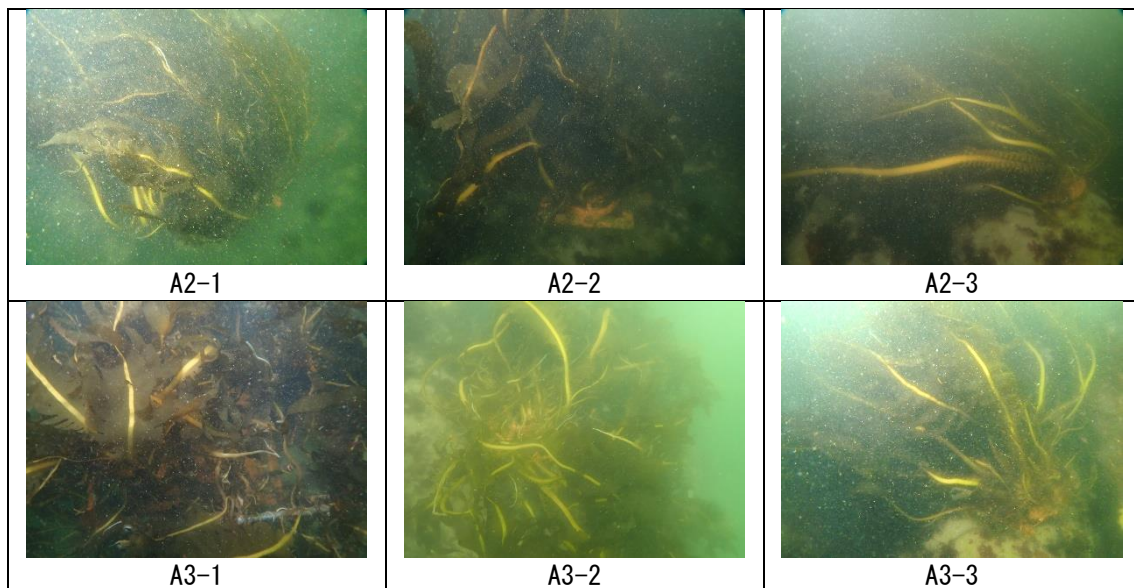


図4.2-12(1) A区画の基質上のワカメの生育状況(2025年5月)

表 4. 2-8(1) A 区画で記録した各基質のワカメの株数と藻長(2025 年 5 月)

観察地点	基質の種類	被度(%)	株数	藻長範囲(cm)
A2-1	剣山基質	100	130	10~160
A2-2	鋳物基質(CS-A)	100	30	40~160
A2-3	鋳物基質(CS-B)	100	40	40~160
A3-1	剣山基質	90	100	10~160
A3-2	鋳物基質(CS-A)	100	50	20~160
A3-3	鋳物基質(CS-B)	100	60	10~160



背景: Google Earth より

※各観察地点で1基の基質の観察結果を示す。  
 ※各地点には3種の基質を1セットとして設置されている。

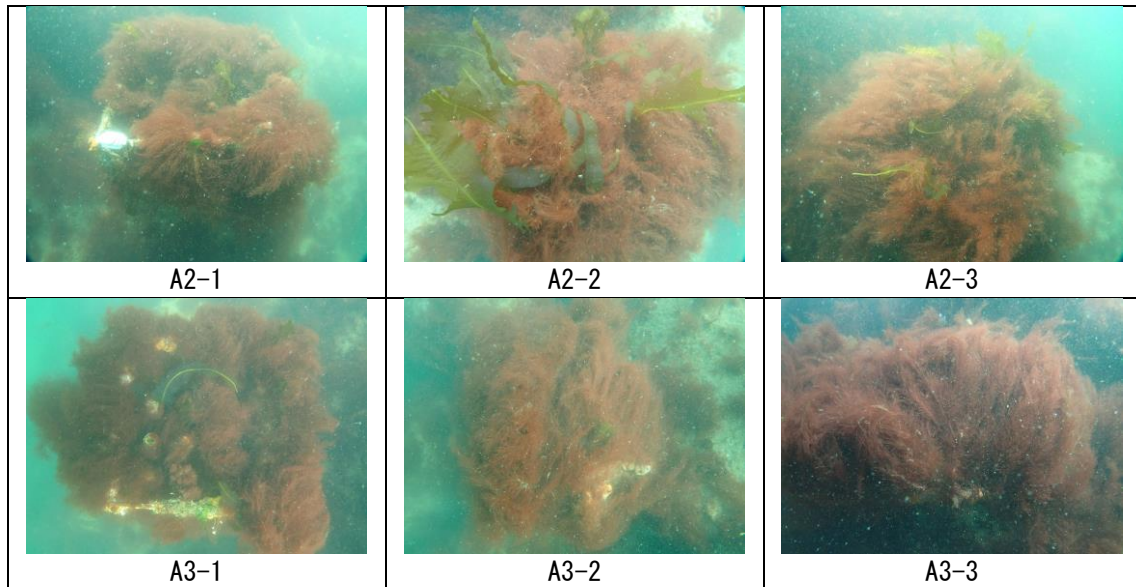


図 4. 2-12(2) A 区画の基質上のワカメの生育状況(2026 年 3 月)

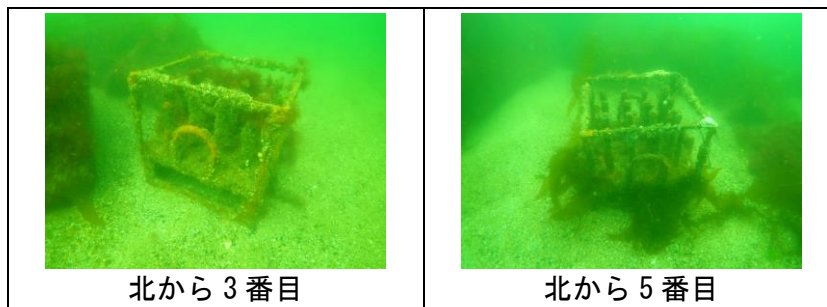


図 4. 2-12(3) A 区画の基質上のワカメの生育状況(2026 年 3 月)

表 4. 2-8(2) A 区画で記録した各基質のワカメの株数と藻長(2026 年 3 月)

観察地点	基質の種類	被度(%)	株数	藻長範囲(cm)
A2-1	剣山基質	5 未満	40	5~40
A2-2	鋳物基質(CS-A)	10	18	5~60
A2-3	鋳物基質(CS-B)	5	12	5~40
A3-1	剣山基質	5 未満	25	5~40
A3-2	鋳物基質(CS-A)	5 未満	15	5~30
A3-3	鋳物基質(CS-B)	5 未満	4	5~20



背景: Google Earth より

※各観察地点で1基の基質の観察結果を示す。  
 ※各地点には3種の基質を1セットとして設置されている。  
 ※北から3番目のA3-1に該当する剣山基質は現場状況により調査対象外とし、4番目の剣山基質を代替として観察した。

## ②B 区画

設置されている 310 基の基質のうち 5 月では 189 基の基質で、3 月では 161 基の基質でワカメの生育が確認された(後述の表 4.2-14-2(1)～(2)参照)。B2～B5 の 4 カ所において各 1 基のワカメの株数と藻長を潜水士が目視で観察・記録した(図 4.2-13(1)～(2)、表 4.2-9(1)～(2))。

5 月にワカメの生育が確認できた基質上のワカメの株数は 12～30 株/基、藻長範囲は 20～180cm であった。ワカメが確認できなかった基質は、浮泥に覆われるなどによりワカメが生育しなかったためとみられる。なお、基質上には小型海藻類は確認できなかった。

B 区画では 12 月 3 日に一部プレートの交換に伴い、ワカメ種苗付きの生分解性種糸が 3 基に、ワカメ種苗付き通常種糸が 113 基に取り付けられた。

3 月に基質上で確認したワカメは、12 月 3 日に種糸を取り付けられた基質は種糸の株が成長したものであり、その他の基質は次世代の株となる。基質上のワカメの株数は、種糸を取り付けた基質では 40～80 株/基、藻長範囲が 10～160cm であり、種糸が取り付けられなかった基質では 0～5 株/基、藻長範囲が 20～60cm と株数や大きさに違いがみられた。なお、基質上には小型海藻類のショウジョウケノリが被度 5%未満～40%、アオサ属、フクロノリ、ムカデノリ、ダジア科が被度 5%未満で確認できた。

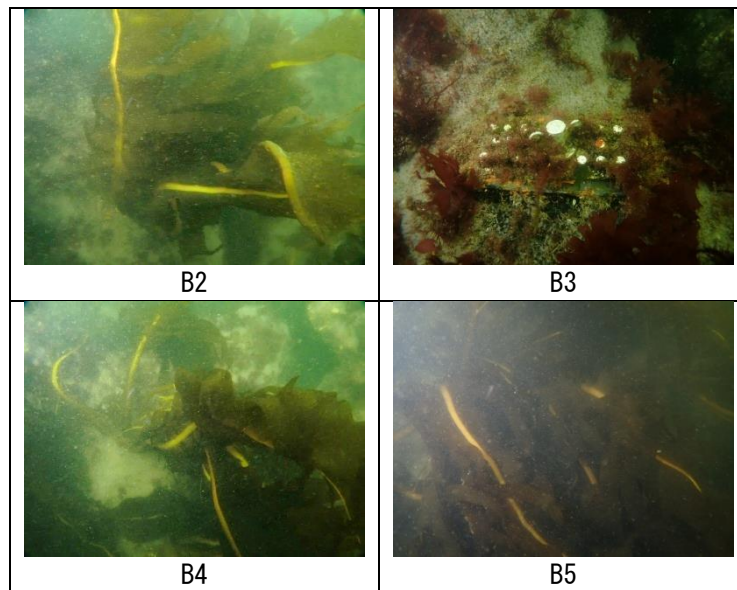


図 4.2-13(1) B 区画の基質上のワカメの生育状況(2025 年 5 月)

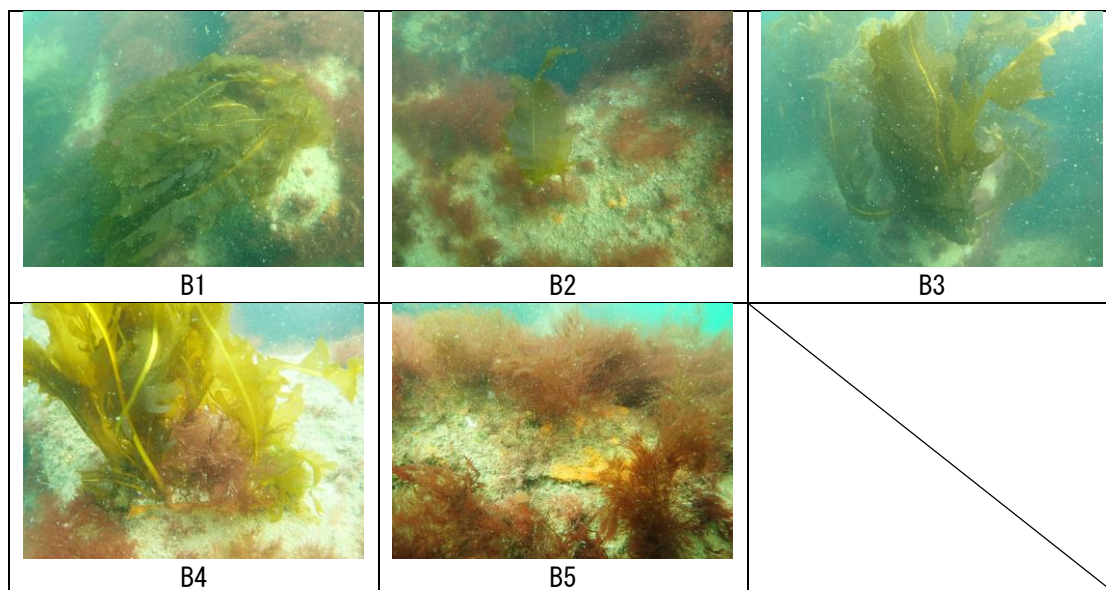
表 4.2-9(1) B 区画で記録した各基質のワカメの株数と藻長(2025 年 5 月)

観察地点	基質の種類	被度(%)	株数	藻長範囲(cm)
B2	着脱式藻場増殖プレート	100	12	40～180
B3		0	0	—
B4		100	16	20～180
B5		100	30	40～180



背景 : Google Earth より

※各観察地点で 1 基の基質の観察結果を示す。



※B1, B3, B4 は 2025 年 12 月 3 日に種糸が取り付けられた結果となる。

図 4.2-13(2) B 区画の基質上のワカメの生育状況(2026 年 3 月)

表 4.2-9(2) B 区画で記録した各基質のワカメの株数と藻長(2026 年 3 月)

観察地点	基質の種類	被度(%)	株数	藻長範囲(cm)
B1	着脱式藻場増殖プレート	100	80	10~120
B2		20	5	20~50
B3		100	50	10~160
B4		100	40	10~160
B5		0	0	—



背景：Google Earth より

※各観察地点で 1 基の基質の観察結果を示す。

※B1, B3, B4 は 2025 年 12 月 3 日に種糸が取り付けられた結果となる。

### ③ C区画

5月では20基の全ての基質で、3月では設置されている20基の基質のうち計11基でワカメの生育が確認された(後述の表4.2-14-2(1)～(2)参照)。C2～C5の4カ所において各1基でワカメの株数と藻長を潜水士が目視で観察・記録した(図4.2-14(1)～(2)、表4.2-10(1)～(2))。

5月のワカメの株数は4～18株/基、藻長範囲は10～200cmであった。なお、基質上には小型海藻類のイギス科を被度5%未満で確認した。

3月に基質上で確認したワカメは次世代の株であり、区画内の北側に位置するC2で確認できた基質上のワカメの株数は9株/基、藻長範囲は5～60cmであった。なお、C2～C5の基質上には小型海藻類のショウジョウケノリが被度90～100%、アオサ属、ムカデノリを被度5%未満で確認した。

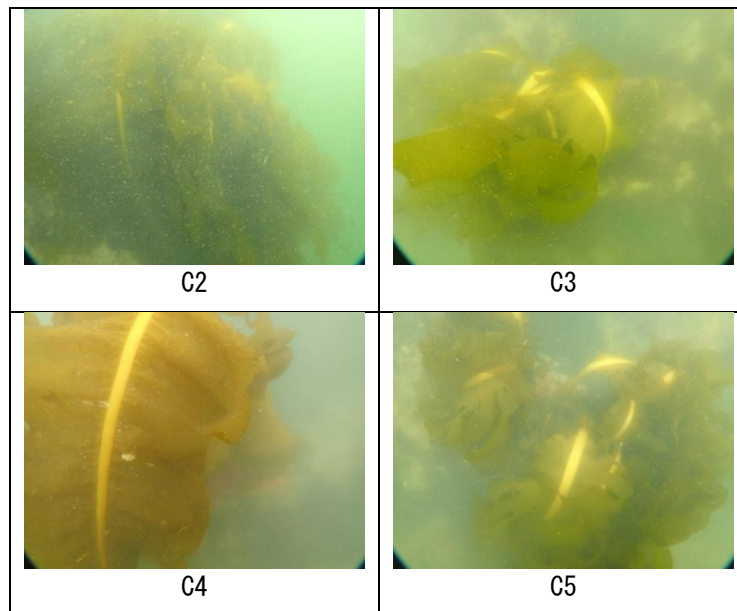


図4.2-14(1) C区画の基質上のワカメの生育状況(2025年5月)

表4.2-10(1) C区画で記録した各基質のワカメの株数と藻長(2025年5月)

観察地点	基質の種類	被度(%)	株数	藻長範囲(cm)
C2	SKS リーフ	100	15	50～200
C3		100	14	40～180
C4		100	4	160～180
C5		100	18	10～180



背景：Google Earth より

※各観察地点で1基の基質の観察結果を示す。

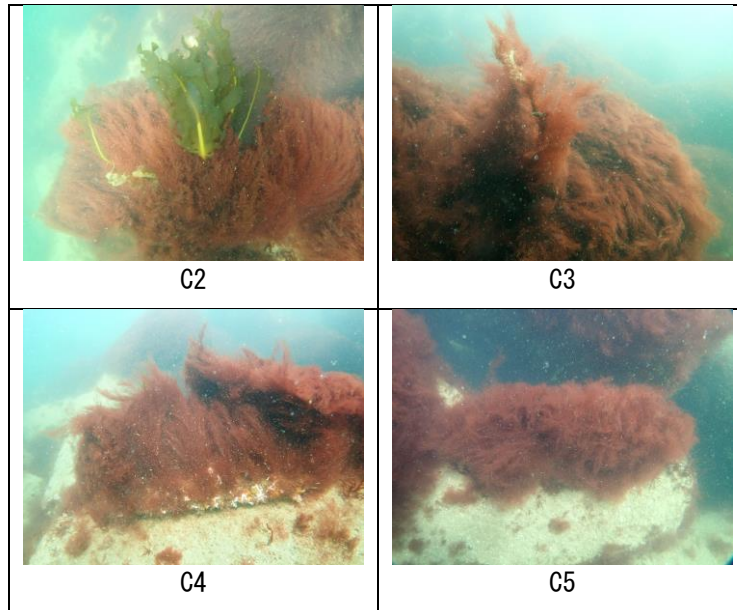


図 4.2-14(2) C区画の基質上のワカメの生育状況(2026年3月)

表 4.2-10(2) C区画で記録した各基質のワカメの株数と藻長(2026年3月)

観察地点	基質の種類	被度(%)	株数	藻長範囲(cm)
C2	SKS リーフ	30	9	5~60
C3		0	0	—
C4		0	0	—
C5		0	0	—



背景: Google Earth より

※各観察地点で1基の基質の観察結果を示す。

#### ④ D 区画

水深 2m 帯に 150 基、水深 4m 帯に 150 基の計 300 基が設置されている基質において、確認した基質数とそのうちのワカメの生育が確認できた基質数が、5 月では水深 2m 帯の 54 基中 39 基、水深 4m 帯の 61 基中 49 基、3 月では水深 2m 帯の 42 基中 1 基、水深 4m 帯の 44 基中 15 基となり(後述の表 4.2-14-2(1)～(2)参照)、そのうち、D2～D5 の 4 カ所において 2 水深帯 1 基ずつの計 8 基で基質上のワカメの株数と藻長を潜水士が目視で観察・記録した(図 4.2-15(1)、(3)、表 4.2-11(1)～(2))。なお、D 区画では 2025 年 3 月 11 日に水深 2m に 15 個、水深 4m に 15 個の計 30 個のスポアバックが設置されていた(図 4.2-15(2))。

5 月では、ワカメの生育が確認できた基質のワカメの株数と藻長範囲は、水深 2m 帯が 3～12 株/基、1～30cm、水深 4m 帯が 2～16 株/基、藻長範囲は 1～5cm であった。なお、水深 2m 帯付近の基質上には、小型海藻類のアオサ属(アオノリ類)を被度 10%～20%、イギス科を被度 10～50%、アオサ属を被度 5%未満、水深 4m 帯付近の基質上ではイギス科を被度 5%未満～5%、北側の D2 地点でアオサ属を 5%未満で確認した。

3 月に基質上で確認したワカメは次世代の株であり、基質上のワカメの株数と藻長範囲は、水深 2m 帯の D5 の基質で 3 株/基、5～10cm、水深 4m 帯の D2、D3、D5 が 1～11 株/基、藻長範囲は 3～20cm であった。なお、水深 2m 帯付近の基質上には、小型海藻類のショウジョウケノリを被度 10%～20%、イギス科を被度 90～100%、アオサ属を被度 5%未満、水深 4m 帯付近の基質上ではダジア科を被度 0～60%、南側の D5 地点でショウジョウケノリを 5%未満で確認した。

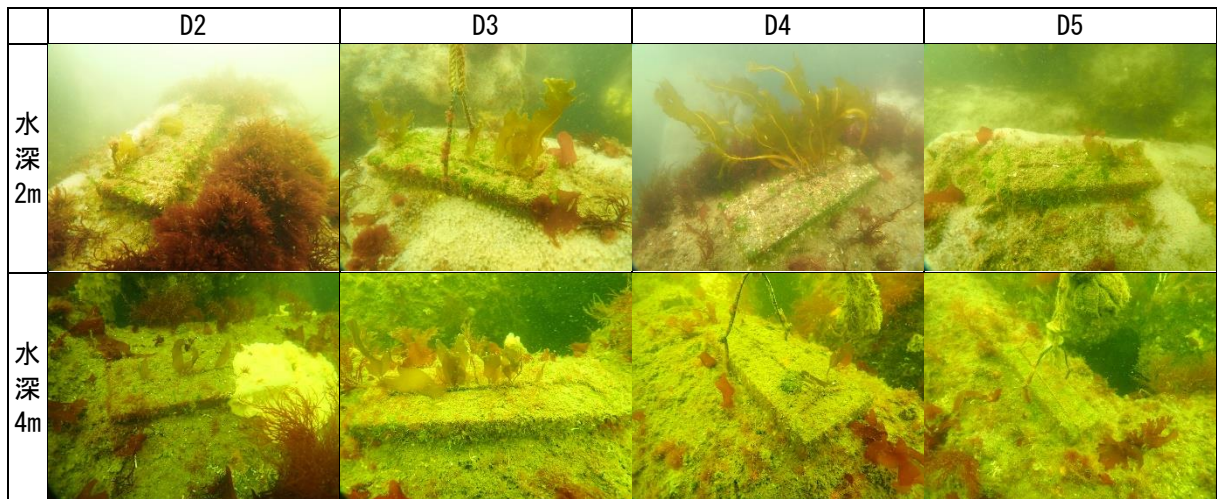


図 4.2-15(1) D 区画の基質上のワカメの生育状況(2025 年 5 月)

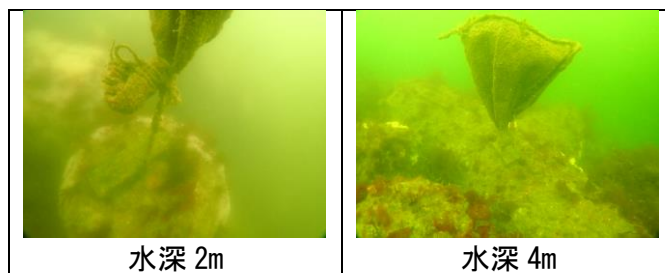
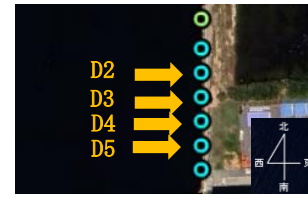


図 4.2-15(2) D 区画の基質上に 2025 年 3 月に設置されたスポアバック(2025 年 5 月)

表 4.2-11(1) D 区画で記録した各基質のワカメの株数と藻長(2025 年 5 月)

観察地点	基質の種類	被度(%)	株数	藻長範囲(cm)
D2(2m)	イオンカルチャープレート	5 未満	2	2~3
D2(4m)		5 未満	4	3~4
D3(2m)		10	9	2~15
D3(4m)		5	16	1~5
D4(2m)		20	12	10~30
D4(4m)		5 未満	2	3~4
D5(2m)		5 未満	3	2~4
D5(4m)		0	0	—



背景: Google Earth より

※各観察地点で1基の基質の観察結果を示す。  
 ※観察地点の地点名の後ろの()内は水深を示す。  
 (各地点で水深2mと水深4mの2層に設置されている)

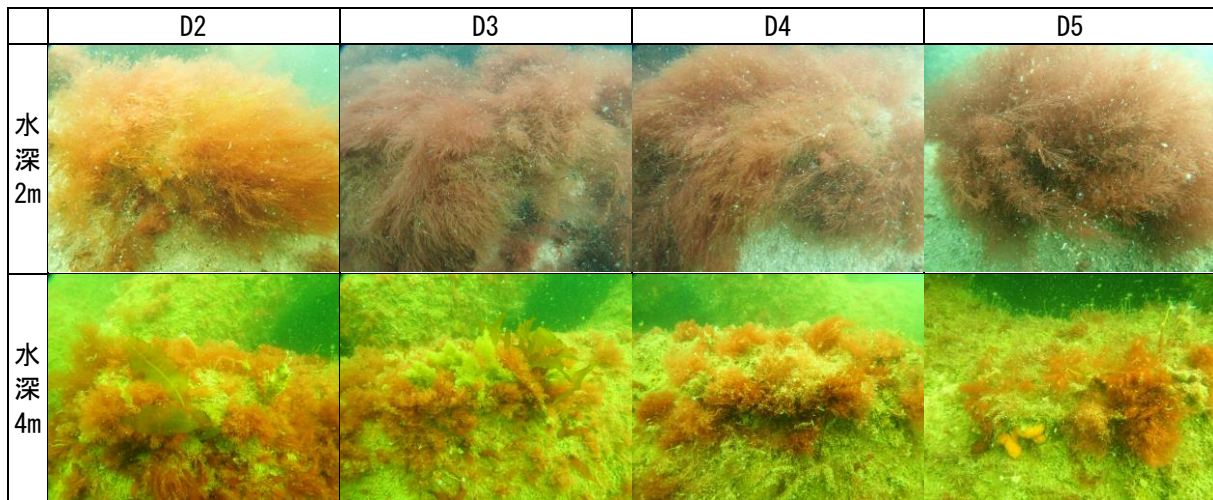


図 4.2-15(3) D 区画の基質上のワカメの生育状況(2026 年 3 月)

表 4.2-11(2) D 区画で記録した各基質のワカメの株数と藻長(2026 年 3 月)

観察地点	基質の種類	被度(%)	株数	藻長範囲(cm)
D2(2m)	イオンカルチャープレート	0	0	—
D2(4m)		5	6	3~20
D3(2m)		0	0	—
D3(4m)		0	11	3~15
D4(2m)		0	0	—
D4(4m)		0	0	—
D5(2m)		5 未満	3	5~10
D5(4m)		5 未満	1	5



背景: Google Earth より

※各観察地点で1基の基質の観察結果を示す。  
 ※観察地点の地点名の後ろの()内は水深を示す。  
 (各地点で水深2mと水深4mの2層に設置されている)

⑤ R3 区画

R3 区画では 18 基の基質が設置されており、5 月では 18 基の全てで、3 月では 18 基のうち、8 基でワカメの生育を確認し(後述の表 4.2-14-2(1)～(2)参照)、R3-A と R3-B の各 1 基でワカメの株数と藻長を潜水士が目視で観察・記録した(図 4.2-16(1)～(2)、表 4.2-12(1)～(2))。

5 月のワカメの株数は、120 株/基、藻長範囲は 20～150cm であった。なお、小型海藻類のショウジョウケノリが被度 5%未満～5%、アオサ属、珪藻類、ダミア科、フダラク (R3-A) およびツノマタ属が被度 5%未満、基質上に確認された。

3 月に基質上で確認したワカメは次世代の株であり、基質上のワカメの株数は、3～7 株/基、藻長範囲は 3～20cm であった。なお、小型海藻類のショウジョウケノリが被度 100%、アオサ属が被度 5%未満、基質上に確認された。

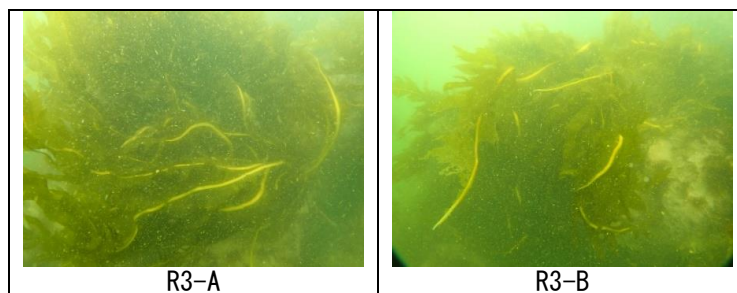
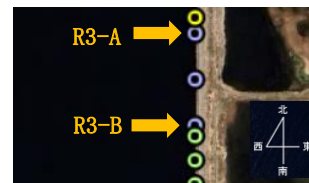


図 4.2-16(1) R3 区画の基質上のワカメの生育状況 (2025 年 5 月)

表 4.2-12(1) R3 区画で記録した各基質のワカメの株数と藻長 (2025 年 5 月)

観察地点	基質の種類	被度 (%)	株数	藻長範囲 (cm)
R3-A	セラポラ基質	100	60	50～200
R3-B		100	80	50～200



背景 : Google Earth より

※各観察地点で 1 基の基質の観察結果を示す。

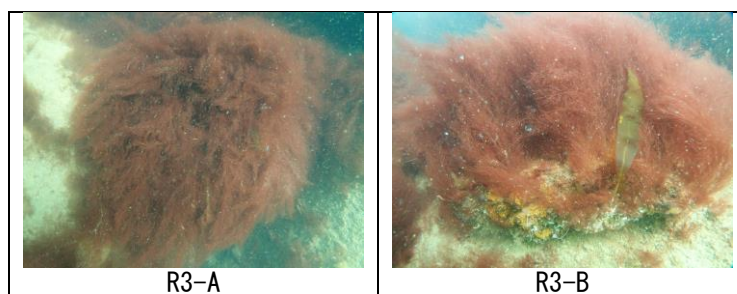
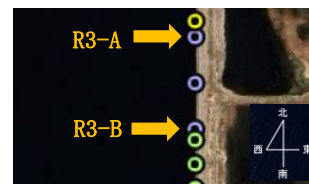


図 4.2-16(2) R3 区画の基質上のワカメの生育状況 (2026 年 3 月)

表 4.2-12(2) R3 区画で記録した各基質のワカメの株数と藻長 (2026 年 3 月)

観察地点	基質の種類	被度 (%)	株数	藻長範囲 (cm)
R3-A	セラポラ基質	5 未満	3	3～10
R3-B		5 未満	7	3～20



背景 : Google Earth より

※各観察地点で 1 基の基質の観察結果を示す。